

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	教科教育法(生活) [Teaching Methodology for Living Environment Studies]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	750094	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	藺田 修二			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(2)		
授業概要	<p>○身近な人々・社会・自然及び自分自身を教材とする生活科について、そのねらいや内容などについて学び、生活科の概要と特色を学ぶ。</p> <p>○カリキュラムに関する基礎理論の学習を踏まえ、生活科のカリキュラム開発についての基本的な知識を理解し、教科の特色を生かしたカリキュラムを考える。</p> <p>○生活科の学びの在り方について学び、他教科並びに3年以上の授業への生かし方を学ぶ。</p> <p>○具体的な実践事例を紹介したり、実際に教材を作成させたりして、生活科の授業を構成するための教材の大切さを考える。</p> <p>○現場の教員による実際の授業に関する講義を通して、具体的な活動や体験を通じた探究的な学びの授業観を醸成し、教育現場で役立つ授業づくりにつなげる。</p> <p>○幼児教育と初等教育をつなぐスタートカリキュラムに対応した授業である。幼稚園や保育所と小学校の連携の在り方について、生活科の意義と役割との関連で講義を行う。</p>						
関連する科目	保育・幼稚園教育に関する内容を受講しておくことが望ましい。また、小学校社会科、理科及び総合的な学習の時間を学ぶことが望ましい。						
授業の進め方と方法	アクティブラーニング形式での授業を基本とし、学生自身が調べる活動、学生が発表する活動、さらには、グループで話し合ったり、体験したりする活動を取り入れる。						
授業計画	<p>第1回:小学校生活科設定の意義と歴史</p> <p>第2回:生活科の目標、学年の目標</p> <p>第3回:生活科の内容、年間指導計画の配列等</p> <p>第4回:生活科の授業の構想</p> <p>第5回:1、2年生の単元から指導案作成①</p> <p>第6回:1、2年生の単元から指導案作成②</p> <p>第7回:授業参観(講義:三股小学校能勢指導教諭の授業)</p> <p>第8回:1、2年生の単元から指導案作成③</p> <p>第9回:模擬授業1</p> <p>第10回:模擬授業2</p> <p>第11回:模擬授業3</p> <p>第12回:模擬授業4</p> <p>第13回:模擬授業5</p> <p>第14回:模擬授業6</p> <p>第15回:幼稚園・保育所と小学校の連携</p>						
授業の到達目標	<p>1 小学校低学年に新しい教科「生活科」が導入された経緯や意図を基に、生活科の目標や指導内容、指導方法等に関する基本的に事項を理解し、生活科の特色を知り、生活科の授業の概要を把握する。</p> <p>2 簡単な模擬授業を実施することで、生活科の授業の特色である、児童の思いや願いを生かすこと、児童が主体的に活動することを学ぶ。</p> <p>3 教育者として求められる資質や能力を学ぶとともに、教育者としての自覚及び意欲を身に付ける。</p>						
授業時間外の学修	<p>【予習】次回の講義内容を把握する。(30分程度) 授業の最後に次の講義内容について提示を示し、次の授業までに確認するようにする。</p> <p>【復習】授業後には、授業で活用した資料の原文を確認すること。(30分程度) 授業内容に関連する図書や資料等で確認すること。確認する内容については授業時間に伝える。 授業終了後に示す課題についてレポートを作成する。(1時間程度) 授業の開始時に前回の授業内容に関する小テストを実施する。(30分程度)</p>						
課題に対する フィードバック	感想文や小テストに対する評価 最終試験による評価			評価方法	小テスト・・・10点 レポート・・・10点 最終試験・・・80点		
テキスト	小学校学習指導要領解説 生活編						
参考書	小学校教科書 生活 必要に応じた図書を紹介						
備考							